

『日本語相談』より

--- どんなテキストを使えばいいですか？ ---

「日本語相談」から何か書いてほしいとの依頼ですので、「日本語 110 番」の頃から、一番相談件数の多いテキストブックについて日本語ボランティアを対象に取り上げてみることにしました。初心者の方には参考に、日本語専門の方や経験者は再確認の意味でお読み戴けると嬉しいと思います。

[望月 敏子]

★ テキストとは

学習者が決まると、まず一番先にテキストの事が気になる方が多いようです。何にしても一番身近な教材ですから。そうです。よく「テキストを教えるのではなく、テキストで教えるのだ」と言いますが、そのとおりで、あくまでテキストそのものを教えるのではなく、テキストは学習目的に到達するための教材の一つだと思います。

ですから、私は、教材作りや教材選びの観点からテキストを選んでいきます。

★ テキストの選定

- ・ 個々の学習者にとって 100%のテキストはない

以下に述べるように、学習者の個々の条件はみんな異なるので、特に学習者が多様化した現在においては、満点のものは、まずないと考えるべきでしょう。

ですから、個々に見合ったものを支援者（指導者）自身の手で作るのが理想ですが、能力的・経済的・時間的等、諸々の条件により個人でテキストを創ることは大変難しい作業です。従って、テキストの選定にあたっては、多くの場合幾つかの市販のテキストの中から学習者により近いものを選び、それにその学習者のための補助教材を支援者（指導者）自らが開発してテキストの不足分を補いながら学習を進めていくということが前提となります。

（だからこそ、よいテキストを選ばなければ、その分補助教材を作る手間がかかり、効率的ではない）

★ テキストを選ぶ過程と条件

1. いろいろなテキストを観る・調べる（情報の収集）

まず、テキストを選ぶためには、どんなテキストがあるのか知る必要があります。

しかし、一人で多くのテキストを購入する事は経済的に無理です。それに、カタログやインターネットでは概要だけで、やはり手にとって見ないと具体的には解りません。

それで、当然の事でしょうが、次のような事をお奨めしていますがいかがでしょうか。

- * 日ごろからボランティア仲間や日本語関係者に使用しているテキストを見せてもらい、テキスト選択の理由や使った感想などを聞いておく。（私の所にも何冊か揃えてあります）そして、出来れば仲間が集って情報交換や話し合いをする。
- * 国際交流センター・図書館・大学等の公共機関を利用する。

* 時々、本屋をのぞき、テキスト等チェックしておく（山梨の場合、種類は少ないですが、思いがけない教材が手に入ったりします。私は、上京の際には時間の許す限り凡人社など、本屋巡りをするのを楽しみの一つにしています）

2. 学習者についてよく知る

（すべてを述べる余裕がないので、後に参考資料を作成して載せておきました。[ニーズ調査](#)や[レディネス調査](#)を参考にチェックしてみてください）

3. 2に基づいて各条件に合っているか確認し、篩（ふるい）にかけていく

[どんな目的でどんな内容をどんな方法で](#)支援（指導）するのか、そのためのテキストです。から、[学習者・支援者（指導者）自身・学習環境・授業のくみため等](#)（参考資料参照）についてよく考え、広い視点からテキストを選ぶと、効率よく学習ができると思います。

事例から

（次に、上記の選択の各条件について、具体的に述べたいのですが、すべては書けないので、相談の中で気付いた事柄を、紙面の許す範囲で書いておきます）

▲ 学習者がどれだけ[自学自習（時間や能力等）](#)できるか、それによって、テキストの内容や量に関係してきます。[教育機器](#)（カセットやPCなど）についても、CD つきのものを買っても家にカセットがない学習者もいます。

（逆にこれ等を上手に活用すれば、テキストをより有効に使うことができます）

▲ [支援者（指導者）自身](#)についても、特徴やウイークポイントをよく分析し、初心者の場合には、[指導の手引き](#)のあるテキストを選んで参考にするとか、学習者と[共通語](#)を持たない場合は（特に学習者が初心者の場合）直接法を主体にしながらも共通語やローマ字つきのものを選ぶ必要もあり得ます。（山梨県下に、新しい統計で77カ国の外国人が在住しています）

▲ テキストがどんな[シラバス](#)に基づいて作られているかも大事です。学習目的や学習条件、到達目標などをよく考えて選んで下さい。（参考資料参照）

▲ もちろん、上記に関連し、[挿絵や活字](#)、学習者によっては[価格](#)なども大事な選択の条件になります。これらについても目的や学習者に適した優先順位を考える事が大切です。

△ Task --- みんなで考えようー

・ よくある相談です。

学習者が「以前使っていたテキストを使用したい」と言っているが、そのテキストは、支援者（指導者）が使いたいものとは違います。どちらのテキストをどのように使ったらよいのでしょうか。学習者はなぜそのテキストを使いたいのか、その理由を幾つか想定し、理由ごとに、それぞれ対処の仕方を考えてみましょう。（ご意見は下記へ）

一応、体験が長いという事で相談を受けていますが、いつも「一緒に考えましょう」という立場でお話しています。以上の事も最初に書いたとおり、あくまで参考意見です。テキスト以外でも、ご意見やご感想・質問等がおありの方はご遠慮なく下記へご連絡下さい。

